

パートナーと協力し、環境に優しい舗装の普及を目指す

会社名 十武建設株式会社
 所在地 青森県十和田市大字奥瀬字大堀平164-1
 従業員 12名
 資本金 1,000万円
 売上高 3億円
 業 種 土木等建設工事業



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 土木建設業における下請け依存から脱却し、バーク材を活用したスギロード事業（バーク材舗装事業）を今後の主力事業としていきたい。
- スギロード事業は、自社施工で現在売り上げ600万円／年。これを5年後に6,000万円にしたい。

支援を受けてできるようになったこと

After

- スギロード工業会によるフランチャイズのビジネスモデルについて具体化するとともに、工業会のルール素案、代理店契約等、パートナーとの協力体制を整えた。
- 明確化したブランドコンセプトに基づき展示会で具体的に発信することができた。

今後の事業展開の展望

Future

- パートナーと協力しつつ「SUGI ROAD」の普及促進活動と事業の成長をに取り組んでいく。
- 令和6年度は3,850万円の売上を見込む。

重点支援を受けた事業や商材

SUGI ROAD(スギロード)

杉の製材時に出る不要な杉の樹皮(バーク)をリサイクル資源として開発した、エコな自然舗装材。環境にダメージを与える人工的な添加物を一切加えず、バークと自然の接着剤(海水由来の酸化マグネシウム)、水による組み合わせでできている。景観になじみ、人と環境に優しいソフトな舗装を実現する。





重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域毎の慣習・慣例が強く、会社の規模も小さいため、県外での自社施工には限界があり、フランチャイズ展開・ライセンスが必要。 施工、舗装材、専用装置(特許とノウハウ)を組合せたビジネスモデルによる利益確保が必要。
舗装材、専用装置に関する知的財産の創出	<ul style="list-style-type: none"> 専用装置、舗装材のこれまでの改良点について、特許、意匠、ノウハウ等の整理・検討が必要。 更なる改良についても検討が必要。
事業に必要な契約内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> 県外での事業展開は基本的にフランチャイズとライセンスになるため、契約・規約等を整えることが必要。
ブランド戦略の構築支援	<ul style="list-style-type: none"> 自社施工だけでなく、フランチャイズ・ライセンス事業を確立するために、知名度向上が必要。 商標の権利範囲が今後のビジネスモデルに沿っているか確認が必要。
将来に向けた組織体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルを実現するための組織体制づくりが必要。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> バーク材舗装自社施工、袋詰めバーク材販売、専用装置販売、将来的なスギロード工業会によるフランチャイズのビジネスモデルについて具体的になった。 	中小企業診断士
舗装材、専用装置に関する知的財産の創出	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究の体制やその際の知財権について整理された。 成果の知財化の方向性が整理された。 	弁理士
事業に必要な契約内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> スギロード工業会のルール素案が作成できた。 代理店契約等の検討がなされた。 	弁護士
ブランド戦略の構築支援	<ul style="list-style-type: none"> SUGIROADのブランドコンセプト等を明確化。実際の展示会出展におけるブース資材、パンフレット改修等により訴求の具体的方法を学んだ。 	中小企業診断士
将来に向けた組織体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> パートナーを活用した体制づくりについて整理された。 	弁護士、中小企業診断士

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士 藤掛 宗則

活用専門家:中小企業診断士、弁理士、弁護士

知財総合支援窓口担当者:青森県知財総合支援窓口 田中 智

PO(プログラムオフィサー):池田 清志